

　　**本大会は、日本スポーツ振興財団の基金助成を受けて開催しています。**

収　支　決　算　書

○行事等の名称：天神祭奉納2024日本国際ドラゴンボート選手権大会

○主催者等名：天神祭渡御行事保存協賛会、一般社団法人日本ドラゴンボート協会

１．収入の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費目 | 内訳 | 金額（円） |
| 前期繰越金 |  | ０ |
| 自己資金 | 一般社団法人日本ドラゴンボート協会 | ６６３，５７８ |
| 参加費 | ◇22人漕ぎ1ﾁｰﾑ12万円×19ﾁｰﾑ＝228万、ｼﾆｱ11万円×4ﾁｰﾑ=44万円、海外11万円×2ﾁｰﾑ=22万円◇10人漕ぎ1ﾁｰﾑ７万円×国内19ﾁｰﾑ＝133万円、海外6万円×3ﾁｰﾑ=18万円 | ４，　４５０，０００ |
| 協賛金等 | 特別協賛協賛金 | １，１００，０００ |
| 助成金 | 日本ｽﾎﾟｰﾂ振興センターJSC | ４，８００，０００ |
| 雑収入 | 大会プログラム広告 | ３３，０００ |
| 合計 | **１１，０４６，５７８** |

２．支出の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費目 | 内訳 | 金額（円） |
| 陸上会場費（ﾚﾝﾄｻｰﾋﾞｽ㈱） | 八軒家浜、南天満公園会場 | ２，４２０，０００ |
| 陸上音響費（大阪音研㈱） | 八軒家浜、南天満公園会場 | ４７３，０００ |
| 陸上会場費（ｱｲﾚｽ㈱） | 八軒家浜、シャワー設置費 | １７２，７００ |
| 水上会場費（広瀬産業海運） | 7/14天満橋―天神橋間の大川250mｺｰｽﾌﾞｲ設置費 | ２，９３７，０００ |
| 使用料 | 八軒家浜桟橋使用料、八軒家公園使用料、南天満公園使用料 | １３３，５５０ |
| 交通費 | 国内2名 | ５６，０００ |
| 新聞広告費（産経新聞社） | ｻﾝｹｲｽﾎﾟｰﾂ大阪本社版10段 | ９９０，０００ |
| 運送費（大翔ﾄﾗﾝﾝｽﾎﾟｰﾄ） | 競技資材運搬（大阪南港から天満橋往復） |  １１０，０００ |
| 保険料 | 選手･ｽﾀｯﾌ傷害、ｲﾍﾞﾝﾄ保険 | １１２，５６０ |
| 大会陸上運営費（ｻﾝｹｲｽﾎﾟｰﾂ） | ｻﾝｹｲｽﾎﾟｰﾂ営業推進部 | ８００，０００ |
| 陸上警備費（ガードマン・ｾﾌﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ㈱） | 7-13-14八軒家会場、南天満公園会場警備費用 | ３５０，３５０ |
| 大川河川監視艇費 | 7/14天満橋―天神橋間 | ８８０，０００ |
| 印刷製本代 | 大会プログラム製作代 | ０ |
| 廃棄物処理代（甲南ｻｰﾋﾞｽ） | ゴミ処理代　南天満、八軒 | ９９，０００ |
| 借料（㈱テレコム） | ｽﾀｯﾌ無線機レンタル料 | ９６，８００ |
| 競技主管料 | 大阪府ドラゴンボート協会 | １５０，０００ |
| 表彰金品（㈱アサコ） | 各種目１－３位表彰 | １５１，９６５ |
| 立替金（ｻﾝｽﾎﾟ） | 資材購入費など | ４１５，４１３ |
| 宿泊費 | 競技役員宿泊費 | ８８，８００ |
| 謝金（森本満里奈） | 司会・実況代 | ４９，８９５ |
| 初穂料 | 大阪天満宮 | １５０，０００ |
| 手数料 | 銀行振込手数料 | ８，９６５ |
| 大会審判艇１隻借料 | 大阪水上バス㈱ | ５５，０００ |
| 雑費 | 氷代、弁当代、会費 | ３４５，５８０ |
| 合計 | **１１，０４６，５７８** |

※マイナス分は、一般社団法人日本ドラゴンボート協会の自己資金として負担します。

（留意点）

・収入合計と支出合計は原則一致させること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ・収支に過不足が生じている場合は、その原因及び対処方針を明記すること。